

第7回

大阪社会福祉士学会

開催要項

2019年11月16日(土) 13:00~17:00(予定)

場所 **大阪府社会福祉会館**

大阪府中央区谷町7丁目4番15号

主催 (公社) 大阪社会福祉士会

後援 大阪府社会福祉協議会・大阪市社会福祉協議会・堺市社会福祉協議会・大阪医療ソーシャルワーカー協会・大阪介護支援専門員協会・大阪介護福祉士会・大阪精神保健福祉士協会・大阪ソーシャルワーカー協会

大会プログラム

12:30 開場・受付
基調講演会場 (3階 301号)

13:00 開会あいさつ
(公社)大阪社会福祉士会 会長 前川 阿紀子

13:10 基調講演
社会福祉士として、災害を迎え撃つ力をつけるには
～増え続ける要支援者を災害から守るために福祉専門職に期待
される役割～
一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長 伊永 勉 氏

14:40 休憩 各分科会教室移動

15:00 分科会

第1分科会 自由研究発表 (4階 402号)

第2分科会 子ども家庭福祉プロジェクト シンポジウム
(4階 405号)

第3分科会 学会実行委員会企画 シンポジウム
(3階 301号)

※終了時刻は、17:00 予定 (分科会によっては、それまでに終了の場合あり)

18:00～ 懇親会 (希望者のみ)

場所：興隆園 (〒542-0012 大阪府中央区谷町6丁目4-6)
参加費 5,000円 (予定) 当日徴収 場所はQRコードより



社会福祉士として、災害を迎え撃つ力をつけるには

～増え続ける要支援者を災害から守るために福祉専門職に期待される役割～



一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長 **伊永 勉（これなが つとむ）** 氏

急速な高齢化は、20年後には高齢者の半数が75才を越え、障がい者も急増します。この様な深刻な時代にあって、災害関連死を減らすためには、災害対策基本法に基づく「避難行動要支援者対策」における登録制度と個別計画の策定を急がなければならず、福祉に携わる関係者が、日常の見守りの延長上における共同作業として、どの様な点に注目するか、どの様な行動をとるべきか等を、事例を元にアドバイスします。

◆プロフィール◆

1995年の阪神・淡路大震災において西宮ボランティアネットワーク(NVN)を設立し、我が国初の官民連携ボランティア活動を推進。

2年後に全国初の防災専門の民間研究機関「エイデイアイ災害救援研究所」を設立。その後、29年7月九州北部豪雨災害に至る国内外の地震・津波・風水害等24回にわたり、被災地の救援・支援の調整を目的とした災害コーディネータとして活動。同時に、災害現場での実態調査や、国・地方自治体・自主防災組織・企業を対象とした防災に関するコンサルティング業務、執筆活動、防災啓発活動を行い、自治体の災害対策本部図上訓練・実働訓練や自主防災組織の研修会、避難訓練等2千回を超えて実施してきました。

〈その他の関係団地〉

- ・阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター友の会副会長
- ・NPO 大規模災害対策研究機構企画委員
- ・(社)アジア国際経済交流センター理事
- ・公立大学防災センター連携会議オブザーバー
- ・コミュニティー防災協議会事務局
- ・大阪港築港・安治川エリア活性化推進委員会委員
- ・子ども防災アドベンジャー実行委員会委員長
- ・財界通信社「月刊公論」“防災の世界を解剖する”連載

一般社団法人 ADI 災害研究所

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-8-24 アインズビル梅田 807 TEL : 06-6359-7711

E-mail:korenaga@adi-saigaikenkyusyo.com URL:<http://www.adi-saigaikenkyusyo.com/>

第1分科会 実践報告会・自由研究発表

4階 402号

座長 関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 助教 高井 裕二 氏

15:00 実践報告 **ボランティアグループの組織化と展開**
～地域貢献活動を目的としたインフォーマルサービスの構築～
北河内 支部 根路銘 俊行

15:30 実践報告 **起立性調節障害の子を持つ親の会「A会」の課題と役割**
～親の会を取り巻く情報環境の変化に着目して～
三島 支部 平野 直美

16:00 実践報告 **計画相談支援の実際と課題**
～社会資源模索の活動から～
大阪南 支部 伊藤 幸子
発表 20分 質疑応答 10分

第2分科会 シンポ 生涯研修センター調査研究部会 子ども家庭福祉プロジェクト

4階 405号

テーマ **社会的養護のもとで育った若者への自立支援**

施設や里親の元で育った若者たちが社会に出た後の困難さによりやく目が向けられるようになりました。

自立支援の現状と課題について、施設職員、研究者、そして支援者として活動する当事者というそれぞれの立場から語っていただきます。

パネリスト

芦田 拓司氏（児童養護施設常照園 自立支援コーディネーター）

「児童養護施設におけるリービングケア・アフターケア～アフターケア実践から見てきた現状と課題～」

長瀬 正子氏（佛教大学 社会福祉学部講師）

「社会的養護を必要とする子ども・若者の自立を考える～子どもの権利の視点から～」

畑山 麗衣氏（小規模住居型児童養育事業 野口ホーム補助員、NPO 法人 Giving Tree 事務局、NPO 法人 IFCA 関西ユース）

「社会的養護経験者における自立の課題・必要とするサポート」

コーディネーター

久保 樹里 氏（大阪歯科大学 医療保健学部口腔保健学科 講師）

「シンポジウムの企画についてー日米の社会的養護出身の若者の状況」

テーマ (仮) 防災と社会福祉士の実践に関するシンポジウム

基調講演を踏まえ、実際に施設や相談機関で活躍されている社会福祉士に登壇いただき、防災や減災に向け、実際に社会福祉士にできることや、地域社会で果たす役割について議論していく予定です。(テーマや内容は変更の可能性があります。)

パネリスト (50音順)

大森 薫 氏 (堺第1地域包括支援センター)
東田 明久 氏 (大阪市こども相談センター)
松岡 由美 氏 ((福) ライフサポート協会 こころの相談ネットふうが)

コメンテーター

伊永 勉 氏 (一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長)

コーディネーター

吉田 祐一郎 氏 (四天王寺大学 教育学部 教育学科 准教授)

参加申し込みおよび会場について

参加費 都道府県社会福祉士会会員・後援各団体に属する会員 2000円
学生 500円 (就業・非就業問わず) 一般 (その他: 上記以外) 3000円

当日申し込み可能です。その際は受付にて参加費をお支払いください。

申込書に必要事項ご記入の上、FAXにてお申し込みください。

申込書に記入している参加費をご確認の上、所定の口座へお振込ください。

すでに参加申し込みをされた方につきましては、再申し込みは不要です。

大阪府社会福祉会館のアクセス QRコードもご覧ください

(Osaka Metro 谷町6丁目 2番出口南 280m 谷町9丁目 2番出口北 560m)



F A X 送信方向

F A X 番号 06-4304-2773

(お間違えないよう再確認を！)

大阪社会福祉士会 事務局 あて

2019 年 月 日

参加申込書

大阪社会福祉士学会 (担当理事 石田)

お名前	ふりがな				
いずれかに☑ を入れてください	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 後援各団体 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 (上記以外)	会員番号 (会員のみ)		勤務先	
		支部名 または団体名		連絡先	(自宅・職場・携帯) — —
希望する分科会(すべて記入してください) 第1希望(第 分科会) 第2希望(第 分科会) 第3希望(第 分科会)					
懇親会(どちらかに☑を入れてください。18:00～ 開催予定) <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない (会場周辺 会費 5,000 円 当日徴収 参加される方は、受付時にご案内いたします。)					

※ご記入いただきました個人情報については本学会運営の目的以外への使用はいたしません。

【通信欄：参加費振込時期】

郵便振替口座 00930-2-254215 (名義) 公益社団法人 大阪社会福祉士会
銀行からの振込 ゆうちょ銀行 ○九九 (ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ) 店 当座預金 0323298

※ 2019 年 11 月 11 日 (月) までに F A X にてお申し込みをお願いします。

F A X 番号 06-4304-2773